

学校と地域をむすぶ

大津市立葛川小・中学校

かけはし

地域コーディネーターだより

2015. 9. 30

NO. 3

葛川学区秋季大運動会



9月12日、最高の青空のもと、葛川学区秋季大運動会が行われました。今年は例年より開催日が早く、9月に入ってから雨続きの天気、そして台風の接近による臨時休校により、運動会に向けての練習や準備がなかなか予定通りには進みませんでした。しかし、子どもたちは限られた練習に120%の意欲でのぞみ、めいっぱい集中

することができました。

今年の運動会のスローガンは、～やる気スイッチ「ON」～。1学期から、小学校5・6年生と中学生が話し合いを持って考え出されました。校舎から垂らされた垂れ幕に書かれたスローガンを見上げながら、みんなのスイッチは「ON」「ON」「ON」。最後の競技が終わるまで全力でした。

今年度は、保育園の休園により、例年のような保育園児のかわいらしい演技や、ほほえましいかけっこが見られないのだと思うと、改めてさびしさがこみあげてきました。しかし、そのさびしさを吹き飛ばすがごとく、小中学



生の団結力、地域の方々のハッスルパワーが運動会を盛り上げてくれたように思います。

たくさんの寿会の皆さんが声援をおくって下さいました。ちびっこちゃんもたくさん競技に参加してくれました。例年以上に、小さい子どもたちからお年寄りまで、地域が一体となって楽しむことのできた運動会であったように思います。

心一つに～8の字とび～

小中学生は紅白2チームに分かれて競い合いました。紅白色別の練習時間は、それぞれのチームの中で使い方を考えました。応援合戦の練習を繰り返したり、



各競技で勝つための作戦を考えて実行したりしました。中でも、練習に力が入ったのは大縄を使った「8の字とび」です。3分間×2試合で何回跳べるか、その合計回数を競い合います。はじめの頃は縄をゆっくりと回してもひっかかったり、縄に巻かれたりとなかなかうまく跳べませんでした。小学校1年

生は初めての体験で、振り降りてくる縄がこわくて入るタイミングがなかなかつかめません。縄をゆっくり回したり、跳ぶ順番を考えたり、背中をポンと押して縄に入るタイミングを教えてあげたりしながら、みんなが跳び続けていくこと



ができるように工夫しました。「ひっかかってもいいよ」「すぐに続きをとぶよ」「こわがらんでいいよ」と声かけをします。何度も練習を重ねるうちに、3分間の集中力は増していき、「ハイ、ハイ、ハイ！」というみんなのかけ声も

大きくなっていきます。本番がはじまりました。練習の時以上に気合いが入っています。かけ声がどんどん大きくなっていきます。相手チームの回数は問題ではありません。自分たちが今までの練習の成果をすべて出し切りたい、確実に跳んでいきたい、そんなみんなの思いが一つになっていました。勝負はつきましたが、どちらのチームも練習以上の最高の回数でした。結果よりそこに至るまでの一人ひとりのがんばりとみんなの一つになる心が達成感を生み出したように思えます。

おじいちゃん おばあちゃんと ジャンケン ホイ



もいれば、「ジャンケン ホイ！」「勝ったあ！」とすぐに戻ってきた子どもも。大きな「ジャンケン」の声を出し、楽しくなごやかにお年寄りの方々とふれ合うことのできたひとときでした。寿会のみなさん、ありが

たうございました。寿会のみなさんと小中学生がいっしょに楽しんだのは「勝つまでジャンケン」。子どもたちが相手チームのお年寄りの方のところまで走って行ってジャンケンをします。負けたら次の方とジャンケンをして、勝つまでは自分の場所にもどれません。ジャンケンはやってみないとわかりません。どんどん負けて最後のお年寄りの方までジャンケンをしていった子ども



たうございました。

心と力を一つにあわせて ～輝 (きらめき)～



小学生の行ったダンスと組体操 ～ 輝 (きらめき)～。両手にはめたカスタネットと4色のポンポンが演技を盛り上げます。二学期の初日から練習をはじめましたが、振り付けをすぐに覚えて音楽が流れてくると自然と手や足が動き始めるようになりました。4色のチームごとに動きが違ったり、それぞれのチームでの

創作部分があったりするなど、みんなが同じでないところにも見る楽しさがありました。カスタネットの音が一瞬になって動きにハリをつけていきます。楽しく踊ることができ、そのこぼれる笑みにキラキラとした「きらめき」が見い出されました。

そして、組体操。今年も中学生の力をかりました。始業前の朝の時間も使



って練習しました。二人組のサボテンや肩車の技で土台となって持ち上げてくれました。こわいけれども、支えてくれる中学生を信じて思い切って胸をはり手を





ます。練習の時には、経験者の3年生が見本を見せてくれたり、コツを教えてくれたりアドバイスをしてくれたりしました。雨が続いたため、



一つ一つの技をきめるたびにおくられる大きな拍手。緊張とともに、しっかりときめたいという思いは高まっていきました。最後、正面を向いて並んだ子どもた

を広げることができました。三人技のひこうき。しっかりとふんばって支えてくれます。「背中のぼして」「がんばって」というかけ声にはげまされます。ピラミッド。ゆらぐことのない土台に、安心して上に上っていくことができます。重みや痛さをがまんしながら支えます。小学校の1～3年生も三人技をしっかりと決め



前日、はじめて運動場で大技の練習をすることができました。

最後のタワー。まわりでV字バランスをする1～3年生。タワーの土台。そして上に立つ者。みんなが一つになっていました。

大きな技も小さな技も、一人でやることはできません。心と力を一つに合わせたときに生まれる「きらめき」。

ちの顔には、やりきったという満足感とすがすがしさにあふれていました。

熱の入る三部対抗

緊張高まる演技や勝負をかけた競技の合間の、地域のみなさんの競技。久多、葛川北部、葛川南部の3チームに分かれて行う三部対抗競技には一段と熱が入ります。綱引き。最後まであきらめずにふんばってひっぱり続ける人にまわりから大きな声援が飛び交います。玉入れ。中学生もいっしょに参加したり、寿会のみなさんもたくさん参加されました。玉を入れる人もいっしょうけんめいですが、見ている人もハラハラしています。「あっ！入ったあ〜」「〇〇さん、がんばれ〜」と観覧席からも大きな声援。



真剣勝負？ どのパンねらう？



オープン種目の注目は、何ととっても「パン食い競争」。ちびっこを抱きかかえて走るお母さん、ねらうパンを決めて走る小学生、走る時から真剣勝負の中学生、揺れ動くパンにとびつく大人たち。会場にいる人たちみんなが注目しています。

大きな声援。楽しい笑い声。和気あいあいとした雰囲気になりました。

さすが！うまい！寿会さん

今年から新しくできた種目。寿会のみなさんが参加された「狙って打ってグラントゴルフ」です。グラントゴルフのようにボールをスティックでコーンと打ちます。狙うのは二重円。ボールがこの円に入れば得点になります。スティックの振り方、



立ち方、ボールの転がし方。さすがです。日々、コツコツと練習に取り組んでおられる成果です。まわりからも「すごい〜」「さすがやあ」「ホールインワンやあ」と大きな声援がおくれます。寿会のみなさん、本当にお元気です。プロ技を見せていただきました。

一致団結 ～応援合戦～

紅白それぞれのチームによる応援合戦。1学期から応援内容を考えてきました。小学校1年生から中学3年生までがいっしょになって繰り広げる応援合戦。それぞれのチームの特色を生かしてアピールします。練習時間は少なかったのですが、休み時間や放課後を使



って応援グッズを作ったり、声出しをしたりしました。言葉やかけ声、応援歌、手拍子、振り付けなどたくさんの応援内容を覚えるのが大変でした。小学校1・2年生に教える3・4年生。リーダーとなって盛り上げる5・6年生。アドバイスをポイントを教えながら練習に気合いを入れてくれる中学生。それぞれがチームの一員として精一杯の力を出して作り上げた応援。本番だけでなく、準備や練習を通してチームワークがますます高まり、勝負をかけた競技にも熱が入りました。

最後の一戦 ～バトンをつないで～

運動会の最後のプログラムは、「小中合同リレー」。小学校1年生から中学3年生までがバトンをつないで勝負に挑みます。今年は、1学期から小中合同体育でリレーの練習に取り組んできました。個々のスピードを競い合うのではなく、チームとしていかにタイムを縮めるかが勝負の決め手です。1学期は、「ゴー！」「ハイ！」のかけ声をかけるタイミングを確かめながら、しっかりとバトンを渡す練習を中心に行いました。練習を重ねるごとにバトンは流れるように渡っていき、確実にタイムは縮まっていきました。その練習の成果を生かしながら、さらにリレーゾーンでのバトンパスの位置を変えるなどの作戦も盛り込みました。勝負は最後のアンカーがゴールするまではわかりません。それぞれが全力で走り、大きな声でバトンを託します。一人ひとりの気持ちがバトンでつながれていきました。勝敗以上に、すべてを出し切ったというすがすがしさが印象的でした。

運動会の一日はあっという間に過ぎていきました。一生懸命出し切った力、楽しいふれあい。地域のみなさんと小中学生、応援に来てくれた人たちが、ともに戦い、楽しみ合った運動会でした。地域のみなさま方、ありがとうございました。